

演習 グループワーク②-1 効果的な多職種連携研修会の 企画案を検討する

1

意図:

医師会と連携(医師会主催、もしくは市町村と医師会との共催)及びを前提として、効果的な多職種連携研修会を企画・実施するためにどのようなことが必要かを理解する。
(KJ法を想定)

Step 1

多職種連携研修会にするために
どのようなことが課題となっているか
(特に医師会との連携、医師の参加という観点から)

< 個人ワーク:10分 >
< グループで協議:15分 >

2

進行:

1. 多職種連携研修会を企画・実施するにあたって、現状どのような課題があるか。特に医師会との連携や医師の参加という観点を中心にはじめで書き出してみる。(個人ワーク10分)
2. 書き出したものを一人一人発表し、島をつくり、分類してみる。途中で気づいたものについては、追加していく。(グループ協議15分)

Step 2

医師会と連携して、より効果的な
多職種連携研修会にするためには
どのような企画とすることが考えられるか

< グループで協議:25分 >

3

進行:

3. 医師会主催あるいは市町村と医師会との共催を前提として、在宅医療に关心を持つ医師を増やすことに資する多職種連携研修会とするためには、どのような企画とすべきか、検討し、提案する。
4. 以上を発表できるよう取りまとめもっていく。(グループ協議25分)

発表・共有

< 10分 >

4

進行:

5. 3グループ程度の発表を想定
(発表3分×3グループ…10分程度)